

あきる野市版レッドリスト（哺乳類）

H30. 6. 1

和名	科名	学名
絶滅危惧Ⅱ類（VU）		
キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ科	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>
コキクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ科	<i>Rhinolophus cornutus</i>
ヤマコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Nyctalus aviator</i>
モリアブラコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Pipistrellus endoi</i>
カヤネズミ	ネズミ科	<i>Micromys minutus</i>
準絶滅危惧（NT）		
ニホンジネズミ	トガリネズミ科	<i>Crocidura dsinezumi</i>
ヒナコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Vespertilio sinensis</i>
モモジロコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Myotis macrodactylus</i>
ニホンザル	オナガザル科	<i>Macaca fuscata</i>
ヤマネ	ヤマネ科	<i>Glirulus japonicus</i>
ニホンモモンガ	リス科	<i>Pteromys momonga</i>
ツキノワグマ	クマ科	<i>Ursus thibetanus</i>
ニホンカモシカ	ウシ科	<i>Capricornis crispus</i>
情報不足（DD）		
シントウトガリネズミ	トガリネズミ科	<i>Sorex shinto</i>
カワネズミ	トガリネズミ科	<i>Chimarrogale platycephala</i>
ヒメヒミズ	モグラ科	<i>Dymecodon pilirostris</i>
ミズラモグラ	モグラ科	<i>Euroscaptor mizura</i>
ウサギコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Plecotus sacrimontis</i>
テングコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Murina hilgendorfi</i>
コテングコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Murina ussuriensis</i>
ユビナガコウモリ	ヒナコウモリ科	<i>Miniopterus fuliginosus</i>
スミスネズミ	ネズミ科	<i>Eothenomys smithii</i>
ハタネズミ	ネズミ科	<i>Microtus montebelli</i>
注目種（＊）		
ニホンリス	リス科	<i>Sciurus lis</i>
ムササビ	リス科	<i>Petaurista leucogenys</i>
ニホンノウサギ	ウサギ科	<i>Lepus brachyurus</i>
アカギツネ（通称：キツネ）	イヌ科	<i>Vulpes vulpes</i>
ニホンイタチ	イタチ科	<i>Mustela itatsi</i>
ニホンテン	イタチ科	<i>Martes melampus</i>

選定方法

1 検討の体制

市と市民等との協働組織であり、あきる野市の生物多様性の保全について検討を行う「あきる野市生きもの会議」による議論を経て、市長が選定した。

2 専門部会の設置

上記の会議の下部組織として、「哺乳類部会」を設置し、種の選定及びランク付けの案を作成した。哺乳類部会の委員構成は次のとおりである。

座長	森 弘安	あきる野市自然環境調査部会会長
委員	浦野守雄	あきる野市自然環境調査部会委員
	重昆達也	東京コウモリ研究会代表
	栗原達夫	あきる野市自然環境調査部会委員
	杉野二郎	森林レンジャーあきる野隊長
	林 典子	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所多摩森林科学園
	パブロ・アパリシオ・フェルナンデス	森林レンジャーあきる野隊員

3 カテゴリー区分と基本概念

名称	表示	基本概念
絶滅危惧Ⅱ類	VU	絶滅のおそれが高まることを避けられないと考えられるもの。
準絶滅危惧	NT	今の時点での絶滅のおそれは小さいものの、個体数や生息する場所が急激に減ったときなどには、絶滅のおそれが一段と高まると考えられるもの。
情報不足	DD	生息地が限られていたり、特殊な環境に生息していたりするために、環境条件の変化によっては、すぐにでも絶滅のおそれが懸念されると思われるが、絶滅危惧種としてランク付けするほどには情報が得られていないもの。
注目種	*	今の時点で絶滅のおそれは低いものの、生息環境の減少や外来種による被害、生息環境の特殊性などを考慮して、注目すべきもの。

4 種の名称等

和名学名等の名称は、「The Wild Mammals of Japan second edition」に準じて記載した。

<写真の提供について>

この資料に掲載した写真は、次のとおりご提供いただいたものです。転載は禁止します。

- ・キクガシラコウモリ、ニホンザル、ツキノワグマ、ニホンリス、ムササビ、ニホンノウサギ、アカギツネ、ニホンテン…「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」より転載
- ・カヤネズミ、ニホンモモンガ、ニホンカモシカ、カワネズミ、ニホンイタチ…「生物多様性あきる野戦略」より転載
- ・コキクガシラコウモリ（撮影地：青梅市）、テングコウモリ（撮影地：八王子市）、コテングコウモリ（撮影地：あきる野市）…重昆達也氏
- ・モモジロコウモリ（撮影地：檜原村）、ミズラモグラ…松山龍太氏
- ・ヤマコウモリ、モリアブラコウモリ、ニホンジネズミ、ヒナコウモリ、ヤマネ、シントウトガリネズミ、ヒメヒミズ、ウサギコウモリ、ユビナガコウモリ、スミスネズミ…浦野守雄氏

※ ユビナガコウモリ（撮影地：あきる野市）は、同定された個体ではなく、ユビナガコウモリと考えられる個体の写真です。

絶滅危惧Ⅱ類（VU） 5種

絶滅のおそれを高めている原因が、改善せず今のまま続いたとすると、近いうちに、さらに絶滅のおそれが高まることを避けられないと考えられるもの。



キクガシラコウモリ



コキクガシラコウモリ



ヤマコウモリ



モリアブラコウモリ



カヤネズミ

準絶滅危惧（NT） 8種

今の時点での絶滅のおそれは小さいものの、個体数や生息する場所が急激に減ったときなどには、絶滅のおそれが一段と高まると考えられるもの。



ニホンジネズミ



ヒナコウモリ



モモジロコウモリ



ニホンザル



ヤマネ



ニホンモモンガ



ツキノワグマ



ニホンカモシカ

情報不足（DD） 10種

生息地が限られていたり、特殊な環境に生息していたりするために、環境条件の変化によっては、すぐにでも絶滅のおそれが懸念されると思われるが、絶滅危惧種としてランク付けするほどには情報が得られていないもの。



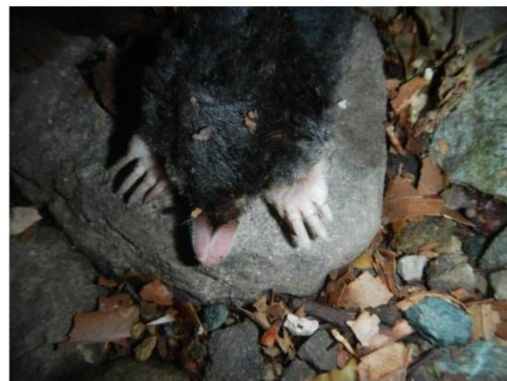
シントウトガリネズミ



カワネズミ



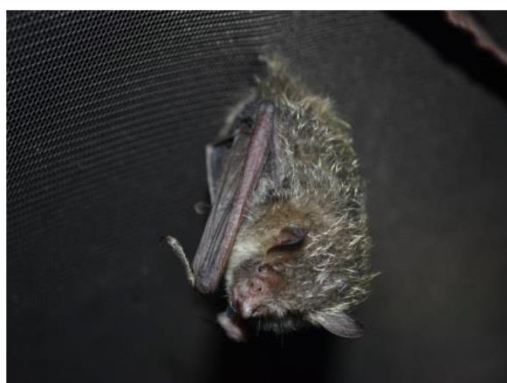
ヒメヒミズ



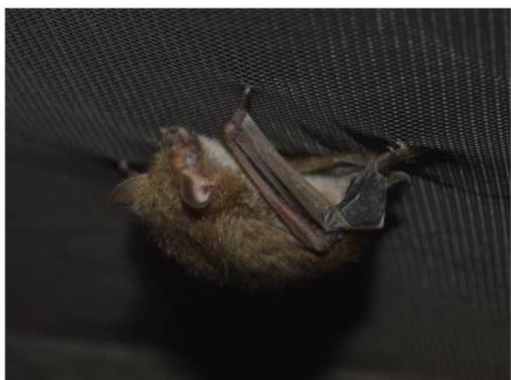
ミズラモグラ



ウサギコウモリ



テングコウモリ



コテングコウモリ



ユビナガコウモリ



スミスネズミ



ハタネズミ

注目種（＊） 6種

今の時点で絶滅のおそれは低いものの、生息環境の減少や外来種による被害、生息環境の特殊性などを考慮して、注目すべきもの。



ニホンリス



ムササビ



ニホンノウサギ



アカギツネ（通称：キツネ）



ニホンイタチ



ニホンテン